



独立行政法人国際協力機構

フィリピン国
マニラ首都圏開発庁
公共事業道路省

フィリピン国

マニラ首都圏中心地域排水機能向上調査

最終報告書 要約



2005年3月

株式会社 パシフィックコンサルタンツインターナショナル
日本建設コンサルタント株式会社



環境

JR

05-024

独立行政法人国際協力機構

フィリピン国
マニラ首都圏開発庁
公共事業道路省

フィリピン国

マニラ首都圏中心地域排水機能向上調査

最終報告書 要約

2005年3月

株式会社 パシフィックコンサルタンツインターナショナル
日本建設コンサルタント株式会社

本報告書で採用した通貨換算率

通貨	1ドルあたり
フィリピンペソ (Php)	55.0 Php
円 (JPY)	110.0 円

(2004年7月の為替交換率による)

序 文

日本国政府はフィリピン共和国政府の要請に基づき、同国の首都圏中心地域排水機能向上にかかる開発調査を行うことを決定し、独立行政法人国際協力機構がこの調査を実施いたしました。

当機構は、平成 16 年 2 月から平成 17 年 3 月までの間、3 回にわたり株式会社パシフィックコンサルタンツインターナショナルの田中元氏を団長とし、同社及び日本建設コンサルタント株式会社から構成される調査団を現地に派遣しました。また、平成 15 年 8 月から平成 17 年 3 月の間、独立行政法人国際協力機構国際協力総合研修所国際協力専門員武田長久氏を委員長とする国内支援委員会を設置し、本調査に関し専門的かつ技術的な見地から検討・審議が行なわれました。

調査団はフィリピン共和国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好・親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係者各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成 17 年 3 月

独立行政法人国際協力機構

理事 北原 悦男

フィリピン国マニラ首都圏中心地域排水機能向上調査

伝 達 状

平成 17 年 3 月

独立行政法人国際協力機構

理事 北原 悦男 殿

フィリピン国マニラ首都圏中心地域排水機能向上調査の最終報告書をここに提出いたします。本報告書は株式会社パンフィックコンサルタンツインターナショナルと日本建設コンサルタント株式会社から構成される共同企業体が平成 15 年 8 月 8 日、平成 16 年 1 月 30 日および平成 16 年 9 月 16 日に調印された貴機構との契約書に基づき作成したものです。

本調査では、マニラ首都圏中心地域の排水にかかわる現況調査、排水機能向上のためのマスタープランの策定、マスタープランの中で選定された優先プロジェクトのフィージビリティ調査を実施しました。

報告書は、要約、主報告書、附属報告書、データ集（図面含む）によって構成されています。要約には全調査結果の要点をまとめ、主報告書には、現況、策定されたマスタープラン、優先プロジェクトのフィージビリティ調査結果、結論と提言を記載しました。主報告書の内容の技術的な裏付けは附属報告書に取り纏めました。また、解析に使用されたデータ類・図面はデータ集にまとめました。

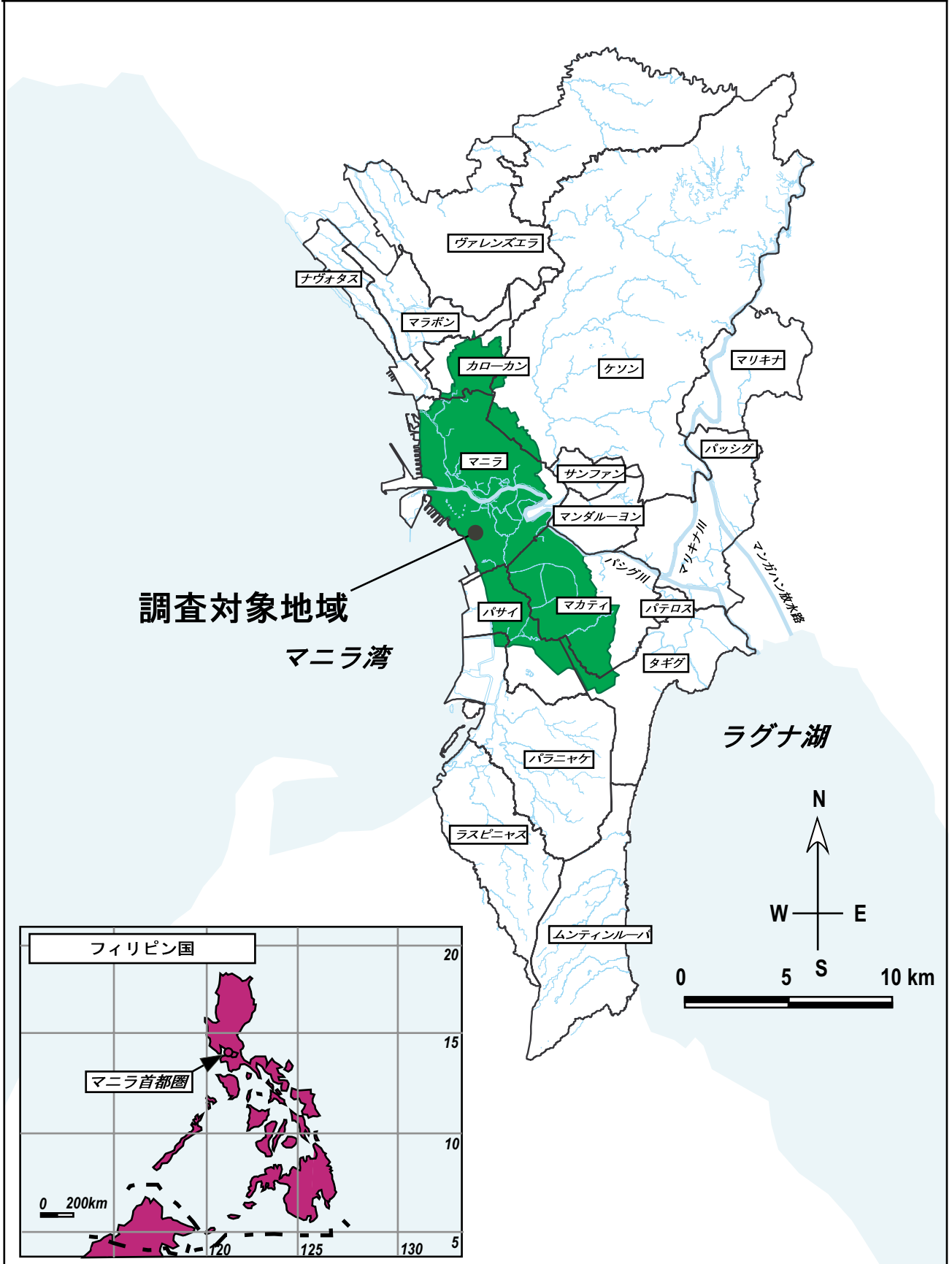
最後に、調査団は貴機構、国内支援委員会、外務省、国土交通省、国際協力銀行、在フィリピン共和国日本大使館、他ドナー、さらにフィリピン共和国の関係者の皆様のご支援に厚く感謝を申し上げますとともに、調査結果がマニラ首都圏中心地域の排水機能向上に寄与し、さらに、これを機会として両国の友好関係がより深まることを祈念いたします。

フィリピン国マニラ首都圏排水機能向上調査団

総括 田中 元

フィリピン国

マニラ首都圏中心地域排水機能向上調査



調査対象地域

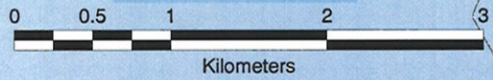
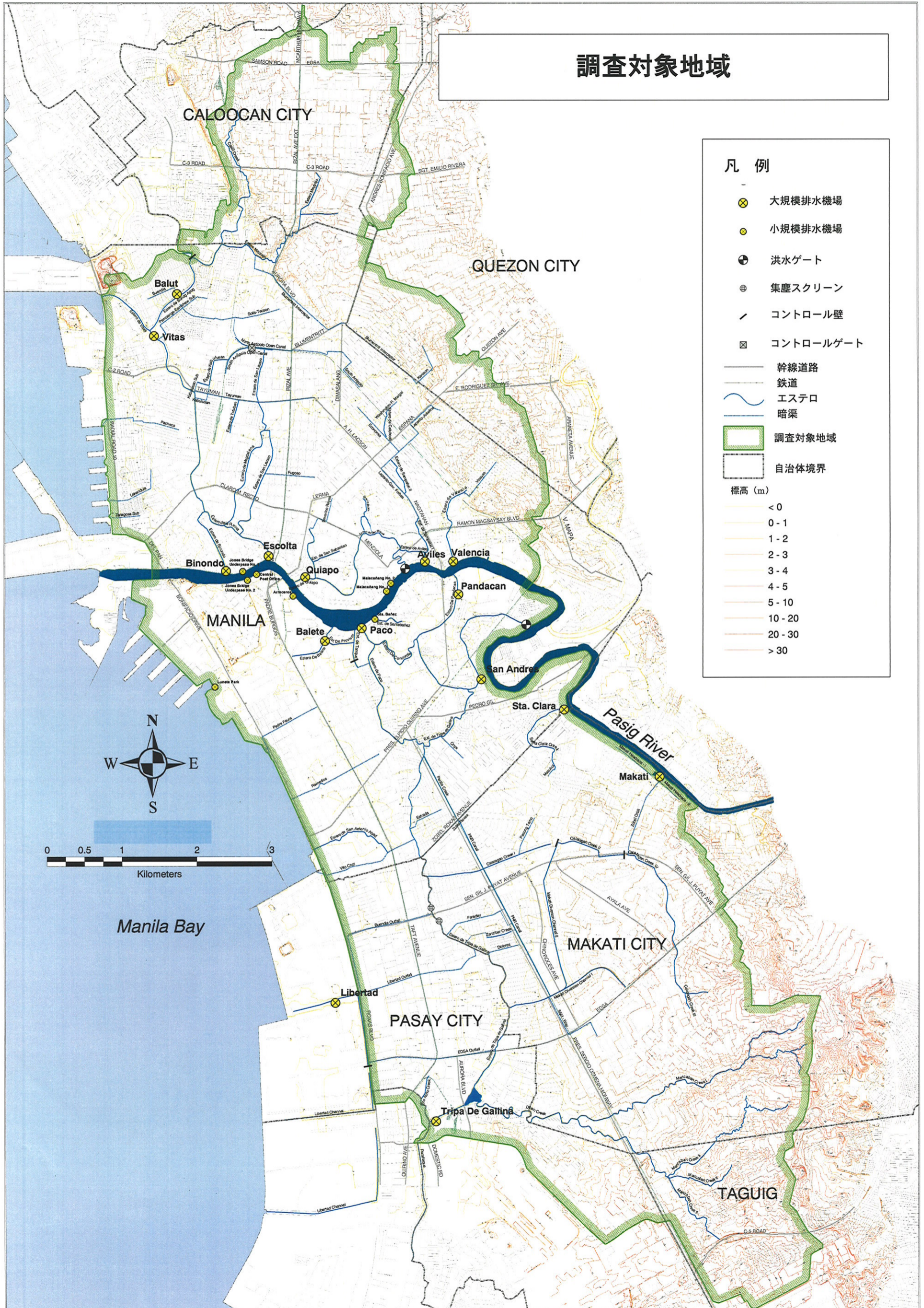
凡例

- ⊗ 大規模排水機場
- ⊙ 小規模排水機場
- ⊕ 洪水ゲート
- ⊗ 集塵スクリーン
- ／ コントロール壁
- ⊠ コントロールゲート

- 幹線道路
- 鉄道
- エステロ
- 暗渠
- 調査対象地域
- 自治体境界

標高 (m)

- < 0
- 0 - 1
- 1 - 2
- 2 - 3
- 3 - 4
- 4 - 5
- 5 - 10
- 10 - 20
- 20 - 30
- > 30



Manila Bay

マスタープラン

構造物対策

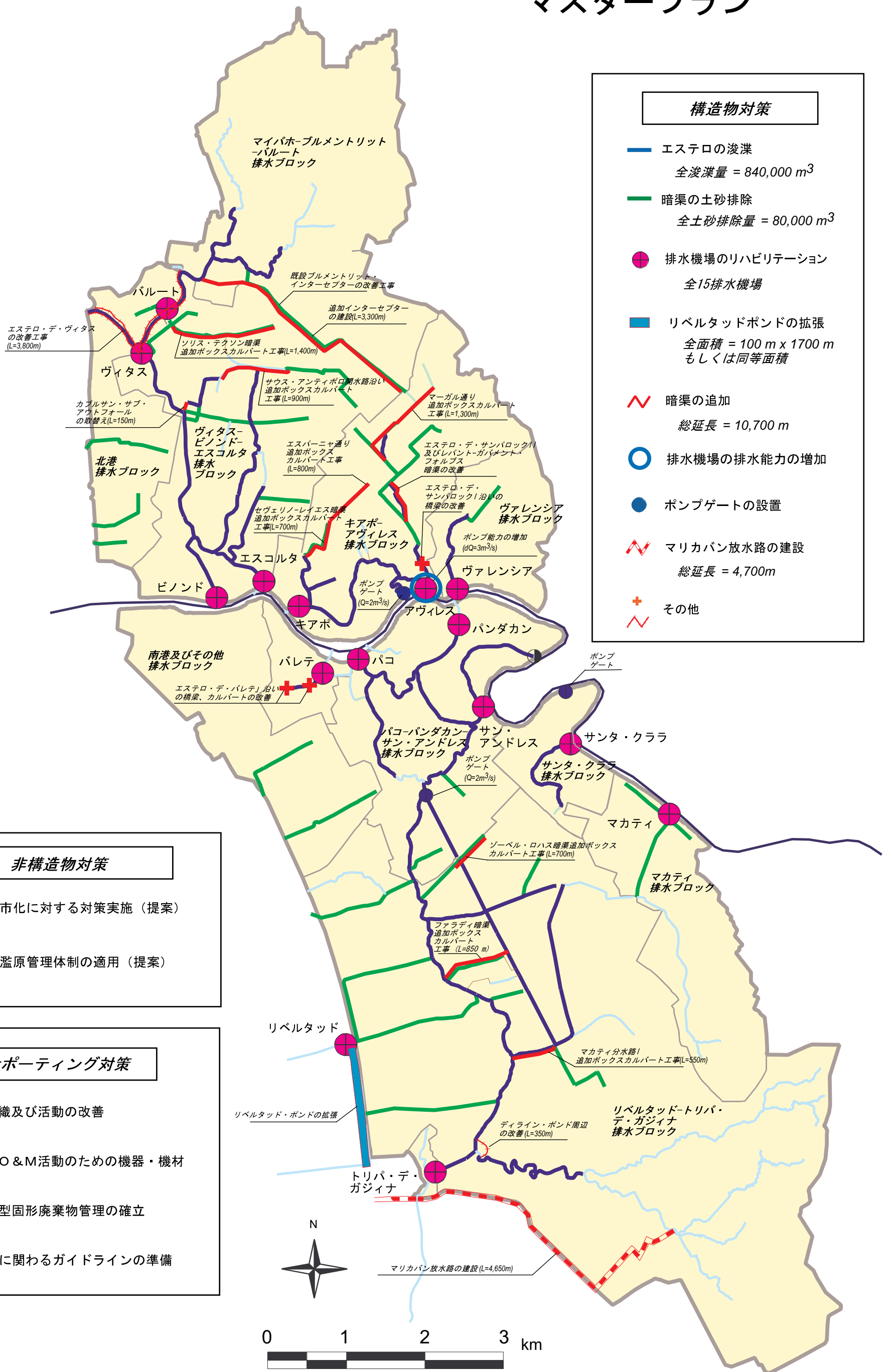
- エステロの浚渫
全浚渫量 = 840,000 m³
- 暗渠の土砂排除
全土砂排除量 = 80,000 m³
- 排水機場のリハビリテーション
全15排水機場
- リベルタッドポンドの拡張
全面積 = 100 m x 1700 m
もしくは同等面積
- ~ 暗渠の追加
総延長 = 10,700 m
- 排水機場の排水能力の増加
- ポンプゲートの設置
- ~ マリカバン放水路の建設
総延長 = 4,700m
- + その他

非構造物対策

- 急速な都市化に対する対策実施（提案）
- 既存の氾濫原管理体制の適用（提案）

サポーター対策

- O & M組織及び活動の改善
- 効果的なO & M活動のための機器・機材の導入
- 住民参加型固形廃棄物管理の確立
- 住民移転に関わるガイドラインの準備



優先プロジェクト

